



2017-2018年度 主題

国際会長 : Henry Grindheim "Let us walk in the Light-together
「ともに、光の中を歩もう」

アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"
「ワイズ運動を尊重しよう」

東日本区理事 : 栗本 治郎
「広げよう ワイズの仲間」

湘南・沖縄部長 : 金子 功
「Y'sの絆を強め、広げよう」

クラブ会長 : 今城 宏子
「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」
～仲良く、楽しく、無理をせず～



今月の聖句

福音のためなら、私はどんなことでもします。それは、わたしが福音に共にあずかる者となるためです。

I コリント9・23



謹賀新年



巻頭メッセージ

辻 剛

「臨」

横浜つづきクラブの皆様、本誌読者の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

「萬物生光輝」（万物、光輝ヲ生ズ）— “春になって万物が生き生きしてきた”、これは今年の手紙に書いた漢詩です。春がもうそこまで来ていて、木々をはじめすべてのものの生命力が強く感じられ、何となく元気が出ます。

私の書道の師匠、渡辺東龍先生は現在も第一線で活躍している書家の一人ですが、常々書の一歩基本的な学びは「臨書」にあると強調されています。「古典」を臨し、表現の原理や技法を学ぶことが、最終的には自己の書法の血となり肉となると説きます。

「臨」という意味には「手本をそばに置いて習う」という意味があります。書なら臨書、絵画なら臨画といえます。（ピカソは、ドラクロワの「アルジェの女たち」を模しつづけたとのこと）。私たちは入門してから今日まで一貫して「張猛龍碑」の臨書をしています。冒頭の手紙も、また普段のお稽古も「張猛龍碑」を先生が、お手本として書いてくださいます。また、「三体千字文」をそれぞれ楷書、行書、草書と3種類のお手本を目の前で書いていただきます。従って、運筆、筆順などの所作が非常に参考になります。私たちは更にそれを手本にして稽古をします。

「臨書」は正確には“古典を臨すること”であり、新しい書や古典を先生が臨したものをお手本に稽古するのは臨書とは言いません。したがって、私がやっているのは「臨書擬き」かもしれません。

また、書道では“稽古をする”といえます。茶道、華道、柔道、剣道など「道」がつく芸能や武術はみな同じだと思います。テニス、野球、レスリングなどスポーツと呼ばれるものは“練習をする”です。「稽古」とは、「昔の事を手本にし参考にする」という意味で、狭義では芸能や武術などを習うことを指します。したがって“、臨書で書のお稽古をする”ということは、まさに“古典（優れた書）をお手本にして学習する”ということです。

この正月に『擬 MODOKI 「世」あるいは別様の可能性』（松岡正剛著、春秋社）というエッセー集を読みました。似せて作ることを意味する「擬」。この「擬」というタイトルには、『「まねたり借りたりすることを恐れないでほしい」というメッセージがこめられている。世の中には発明か、模倣、それ以外はない。文化も、過去や秀作をまねたり踏襲したりすることで発展している。「みんなお互い様。それなのに現代人（次頁へ）



2018年1月本例会

日時 1月26日(金)18:30～

場所 かけはし都筑

司会:久保 受付:山中

～プログラム～

- | | |
|----------------|-------|
| 開会点鐘 | 会長 |
| ワイズソング・信条 | 一同 |
| 今月の聖句と祈祷 | 鈴木S |
| ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 会長挨拶 | 会長 |
| クラブ総会 | 会長 |
| YMCA報告 | 山中館長 |
| Happy Birthday | |
| 閉会点鐘 | 会長 |
| 懇親・会食会 | ガブリエル |

今後の予定

2/12(月)横浜YMCA会員大会

@横浜とつかYMCA

2/13(火)事務例会 18:00～

ピンクシャツデー

(TOF)トン汁、おにぎり

2/23(金)本例会/北Y交流会

@敦煌 会費3千円

後期の会費振り込みのお願い

振込先：横浜銀行菊名支店

普通口座：1330228

口座名：横浜つづきワイズメン
& ウィメンズクラブ

(前頁より)は模倣や引用を極端に警戒し、独自性や独創性に拠点を置く。それでかえって、独創性を失っている』と説いています。人類の歴史にも過去平和な時代は沢山ありました。それらの歴史を「臨」し、「平和擬きの世の中」を模倣したらどうでしょう。真の平和を創造する源泉になるかもしれません。

書は「年輪の芸術」ともいわれており、50歳ではまだ若く、70歳を過ぎてようやく人生の機微を知り、80歳で円熟の域に達し、90歳でまさに心の欲するがまま自由の境地に近づくといわれています。私は今年8月に80才になりますがとても円熟の域に達しているとは言えません。建築家の安藤忠雄氏は「70歳でも80歳で

も、目的をもって毎日生きている人は、自分や社会になにができるか考え続けているから、何歳になっても青春です」といっています。意味するところはまさにサミュエル・ウルマンの「青春」です。

「人生100年」の時代がそこまできています。我がクラブの平均年齢もついに70歳に達しましたが、70才、80歳はまだ人生真っ盛り、という気持ちで理想・目的を持って「生涯青春」をおう歌ましょう。

今年が皆様とワイズにとって実り豊かな年になることをお祈りしております。

(完)

《報告》

つづきクラブでは、毎年12月の本例会を横浜YMCAのクリスマス会に合流して行っています。 岡田 勝美 記

日時:12月21日(金)18:30~20:15

場所:湘南とつかYMCA

出席者:今城H、岡崎、岡田K・M、鈴木K・S、辻T
横田、生井、山添、山中 (11名)

第一部 礼拝(司式 横浜北Yの宮原さん)

- ・前奏、点火、聖書朗読、讃美歌等々
今回は来年度職員採用内定者が大勢登壇し活躍しました。若い人を交えた新しい感じの礼拝でした。
- ・今回出席した来年度採用内定者、約50名が山添さんより部門別に紹介されました。若々しい力を感じ、頼もしい限りです。
- ・クリスマスメッセージ「暗闇にあるわたしの灯心」
宇野 緑牧師により、イエス降誕の意味についてメッセージが伝えられました。
- ・点燭、聖書朗読、プロジェクターによる聖書影絵は素晴らしいものでした。

な祝会となりました。

- ・横浜YMCAに連なる様々な方々との交流ができたことは極めて貴重な経験でした。いろいろな方々とも交流ができました。
- ・寄付文化、富士山グローバル・エコ・ヴィレッジの募金とボランティアなどのアピールがありました。
- ・当日の準備にあたったYMCAスタッフの労力に多いに感謝です。
- ・久しぶりに横浜北Yの山中館長、横浜YMCAの生井、山添両ワイズともお話しできました。参加者が増えれば、この横浜YMCAクリスマスの義はさらに上がると思いました。(完)



光と音によるクリスマスメッセージ

第二部 祝会

- ・職員内定者、常議員の方々も大勢参加し、にぎやか



参加したつづきクラブの面々



《特別寄稿》

第7回日・中・韓YMCA平和フォーラム参加報告

鈴木 茂

日時 : 2017年12月16日(土)~20日(水)

会場 : 韓国・光州(GWANGJU) プラドホテル

参加者: 日本・シニア28名、ユース20名、計48名

(内横浜YMCA・シニア7名、ユース3名)

中国・シニア12名、ユース12名、計24名、

韓国・シニア65名、ユース11名、計76名、

合計・シニア105名、ユース43名、計148名

私は去る12月16日から5日間、韓国・光州で開催された標記のフォーラムに横浜YMCAチームの一員として参加してきました。このフォーラムは2004年から日本、中国、韓国のYMCA間でほぼ2年毎に開催され、東北アジアにおける平和構築を目指して、YMCAが果たすべき役割とプログラムについて協議を重ねてきました。特に、第4回フォーラム(韓国・仁川)において、ユースを主体とするプログラム開発が提案され、第5回(広島)、第6回(中国・南京)には、関係国YMCAから多くのユースが参加し、平和について学び、交流を深めてきました。

ワイズの世界と同様に、YMCAの国際組織においても、台湾・香港の加盟を巡って中国が反発し、中国YMCAはアジアYMCA同盟や世界YMCA同盟に加盟していません。そこで、中国YMCAの孤立を防止する意味においても、この日・中・韓平和フォーラムの存在は意義深いものと思われます。

韓国における民主化運動の原点と言われる「5・18光州民主化運動」で知られる光州では、1980年5月18日~27日に、当時の軍事独裁政権に反対した市民が武器を手に取り戒厳軍と戦いました。その過程で、多くの市民の貴い命が奪われました。今回のフォーラムが光州で開催された理由の一つは、平和な社会を築く手がかりとして、民主化運動を率先した光州市民の勇気と良心の歴史を学ぶことにありました。

開会礼拝では、韓国現代史の生き証人のような元世界YMCA会長のソ・グアンソン博士の証がありました。日本の植民地時代に現在の北朝鮮で生まれた博士は、抗日運動で祖父を日本軍によって殺され、満州に逃れて日本人の軍国少年として教育され、1950年の朝鮮戦争では牧師であった父親がソ連・北朝鮮軍によって殺されたご経験などをお話になり、私たち参加者に強い衝撃を与えました。

初日の午後は、光州民主化運動で犠牲になった市民が眠る国立墓地を訪問し、墓前に献花して、光州市民の平和実現への熱い思いを再確認することができました。第2日目の「青年レポートの発表」では、各国青年から、①一人っ子政策に伴う現代中国青年の深刻な家族扶養負担、自分自身の生活に追われた余裕の欠如、情報氾濫による思考能力の低下、経済的・社会的格差拡大による国民の分断、環境汚染の深刻化(中国)、②若者の厳しい受験戦争や就職難等に伴う挫折感と孤立、南北朝鮮の分断と北朝鮮の核・ミサイル脅威に対する不安と焦燥(韓国)、③若者の政治的無関心と諦観、マイノリティーに対する不寛容、歴史教育における現代史の軽視、政府による平和憲法改正の動きへの懸念(日本)など、現状認識について率直かつ真剣な意見表明と問題提起が行な

われました。

以上のような各国の現状認識と問題提起を踏まえて、ユース参加者はフォーラム最終日に、次の三つのアクションプランを含む「第7回 日中韓YMCA平和フォーラム ユース共同宣言文」を発表しました。

◇北東アジア平和のための「YMCAユース平和委員会」を設立し、ユースが北東アジア地域の歴史を様々な角度から捉え学ぶことを推進し、各国でユースによる平和運動の推進を行う。

◇毎年5月に、3週間連続で各国にて「平和リレー週間プログラム」を行う。

◇ユース平和委員会は、YMCA同盟やローカルYMCAと協力し、全国・ローカルYMCAの既存・新規のユースプログラムに平和教育の要素を取り入れることを提案する。

私は今回はじめてこのフォーラムに参加しました。平和実現は極めて困難かつ微妙な問題であり、民間団体の数回の会議で対策や解決策が与えられるほど容易なものではありません。それ故に、当初、この会議の意義を疑問視する気持ちもありませんでした。しかし、平和実現は正にYMCAの使命、目的に沿った活動であり、ユースたちの徹夜も厭わない共同宣言作成の共同作業を見聞きして、対立する相手方を含め、直接に話し合うことの大切さを痛感することはできました。どんなに小さな前進であっても、平和を目指した対話の必要性を実感したフォーラムでありました。(完)



上：横浜YMCA関係者を含む日本からの参加者

下：光州国立墓地における献花



第94回箱根駅伝観戦記 於:久保邸

(記:横田 孝久)

1月3日快晴の中、正午すぎに青山学院が復路の箱根下りで逆転してそのまま我々の前(9区)を走って行った。あっと云う間の出来事で旗を振っての応援も届いたかどうか。なにせ後ろを走る車で監督が声を張り上げてのコーチングです。

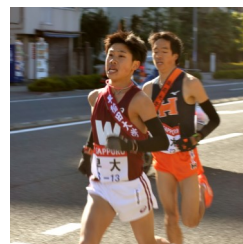
トップの青学と2位の東洋大との時間差が12分くらいあり、東洋大と早稲田(3位)までは少し間抜けがした感じだった。それからは各大学の懸命な走りに感激した。青学出身の岡田さん辻さん達の顔が童顔に変わっていたように思います。

全てのランナーが走り過ぎ、楽しみの久保邸での新年会に、参加者8名、急ぎ足で向う。既に、奥様のご配慮で食卓のセットができあがり、ビールで乾杯をした。それぞれメンバーの持ち寄り料理が並び一流料亭の感、また久保夫人のスペアリブが抜群の美味しさ、そして芙蓉蟹がプロの味、なんと3代続く伝統料理だとか。

途中テレビで青学の3連覇を見届け、さらにアルコールでヒートアップ。餃子、パテ、ラッキョウ、おせち料理等々本当に感謝でした。

飲みすぎ食べすぎで3時ごろのお開きでは老体が皆スローな動きになり後片付けもそこそこに久保邸をあとにしました。本当に久保さんご夫妻には感謝でした。あつかましいワイズの面々ですが

今後とも飽きずによりしくお願いします。



トップは一人旅だが、後続では抜きつ抜かれつの死闘が目前で繰り広げられた。

北YMCA報告

館長 山中 奈子

12月10日(日)横浜北YMCAのクリスマス会が行われました。クリスマスのお話を聞いた後、チアダンス・キッズダンスの発表会、手品、クラフトなどで楽しんだ後、お待ちかねのサンタがやってきました。サンタはフィンランド人のメンバーのお父様です。本物?!と大人もびっくりしてしまうほどの素晴らしさでした。子どもたちは目を真ん丸にして驚いていました。国際地域協力募金も12,000円ほど集まりました。クリスマスの良き時を過ごすことができました。

冬休みに入ってスキーキャンプ・水泳合宿・サッカー合宿が行われました。今年は弾丸低気圧

のおかげ(?)で雪が豊富で、毎年雪不足に悩んでいる湯沢スキー場も吹雪に悩まされるという状況でした。しかし、新雪のおかげで転んでも痛くないため思い切り滑ることができたようです。水泳・サッカー合宿は選手コースの子どもたちが参加しています。サッカーは仙石原、水泳は菅平と寒い地域で行いましたが、子どもたちは元気いっぱい練習に励んでいました。

2018年も多くの子どもたちと一緒に楽しく有意義な時が過ごせるよう頑張っていきたいと思います。



調理ボラのクリスマス

すぷーん、ぽけっとの皆との楽しいクリスマスディナーを開催。

★参加者：辻Ts、岡崎、今城T+H

(今城高之 記)

つづきクラブのCS活動の一つに、グループホーム「すぷーん」での調理ボランティアがあります。このところ参加メンバーの減少により回数が減りましたが、月2〜3回、二人1組で、入居者と介護スタッフ合せて7人分の夕食を作りに行きます。5年余り続けて来ましたが、辻剛・今城高之チームの『男子組』は、少し目先の変った内容になるからか、非日常的(?)ということかは定かではありませんが、なかなか評判がよろしいようです。

普段は準備だけで失礼するため、入居者の皆さんが用意した食事をどのように食べておられるのか知る由もありませんが、暮れの12月25日、初めての試みとして、皆さんと一緒に『クリスマスディナー』を催しました。

参加者は、「すぷーん」の入居者5名と介護スタッフ2名、関連施設「ぽけっと」の入居者2名と看護スタッフ2名に我が方の4名が加わり、合計15名の賑やかなパーティーとなりました。

その夜の献立は、入居者の皆さんだけの希望のKFCに加え、我々の準備した、豪華なポテサラ、辻シェフお得意の「餃子」、ミートローフにお好み焼きといった、バラエティーに富んだ内容で、ノンアルコールシャンペン

を飲みながら大いに盛り上がりました。

なお、当日の諸経費は、横浜市都筑区社協の《善意銀行助成金》が充当されました。



新春うたはじめ

テレビの俳句番組が大人気を博し、新聞、雑誌などの詩歌の欄が活況を示しています。当誌も世の流れに乗り遅れないよう、優雅な雰囲気を醸し出そうと試みてはいますが、結局のところ、同年配の方々が詠まれた「川柳」がとつきやすいと思い、何句か拝借いたしました。雅さより恐怖感が先に立つものもありますが如何でしょうか。

- ◆ 「徘徊」と噂されて 散歩止め
- ◆ 妻が書く 老後の計画 俺いない
- ◆ メモ帳の しまい場所にもメモがいる
- ◆ デザートは 昔ケーキで 今クスリ
- ◆ 年寄りの 渡る世間は 罷ばかり
- ◆ 目覚ましの ベルはまだかと 起きて待つ
- ◆ バラに似て 妻も花散り トゲ残し
- ◆ 年賀状 書かねばあの世と うわさされ
- ◆ 耳遠く あの世のお呼び 聞こえない
- ◆ 忘れ物 取りに帰れば また忘れ
- ◆ 「先寝るぞ！」 「安らかにね」と返す妻
- ◆ 暑いのでリモコン入れると テレビ
- ◆ つく

お後がよろしいようで。(編集子)

2018年1月事務礼拝報告

今城 高之 記

日時 2018年1月9日(火) 18:00-20:00
 場所 田園都筑教会
 出席者 今城T+H、岡崎、岡田K+M、久保、胡麻尻
 鈴木K+S、辻Ta、福島、横田 (12名)

0. 黙祷、点鐘をもって開会

1. 報告事項

- ①12/21開催の横浜YMCAクリスマス集会(当クラブ 12月例会扱い)参加。(別途報告掲載)
- ②12/25 すぷーんのクリスマスディナーに参加(別途報告)
- ③1/3に有志が久保邸に集まり、駅伝観戦と新年会を開催。当クラブには、青学出身者も多く、また法政、日体大出身者もいるため大いに盛り上がる。

2. 協議事項

- ①次年度クラブ役員は、会長：岡田K、書記：岡田M、会計鈴木Kと決まり、新たに、副会長(次々期会長)候補に今城Tの推薦があり、了承された。総会で最終決定する。その他、部の次期国際・交流主査を当クラブより出してほしいとの要請が寄せられているが、会長としては受諾の方向で検討したいとの意向。
- ②次期国際会長の選挙が迫っており、至急検討して投票を行う。J. ジョーンズさんに投票の予定。
- ③富士山YMCA募金については、クラブとして1万円を拠出することとなった。その他、個人の献金が奨励された。

④辻Tsより、改訂定款の翻訳が終わり、国際議会に諮られるとの報告があった。4月中に国際議会の承認が得られる模様。

⑤「みんなの家夢カフェ」の新プロジェクトに向け新たな協議会立ち上げの紹介があった。鈴木Kがメンバーとなる。従来の年5千円の会費とは別に、新プロジェクト関連で新たに年5千円を拠出することを承認した。

3. 1-2月行事予定の確認

- 1/13(土):Y-Y's新年会@ワークピア 8名出席
- 1/26(金):本例会・総会開催
- 2/13(火):事務例会・ピンクシャツデー
- 2/23(金):本例会/北YMCAとの交流会@敦煌(会費3千円)

4. CS予定確認

行事予定表の確認を行った。

5. 缶ペーンの「開缶式」

約1年前に配った缶を持ち寄り、「開缶式」を行う。後日、鈴木会計、今城書記両名で最寄りの横浜銀行に赴き、計量してもらう。

結果発表!

今回の軽量結果は、**35,630円**

1月分のスマイルに計上する。前回(初回)に比べると若干低調ですが、皆さんの協力に感謝。

▲例会後は、最寄りの「一心」にて会食懇談会を開催。

《編集後記》

▽新年を迎えるにあたり、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も、「つづきクラブブリテン」を何卒ご愛顧頂きますように▽昨年はクリスマススマイルが日曜のため、クリスマス礼拝、降誕日礼拝と二連荘(れんちゃん)。また、大みそかが日曜日のため、主日礼拝、元旦礼拝と二連荘。礼拝を守るのも楽ではありません。▽当クラブでは、今年度開始直前に4名の方々が、功労会員、休会、退会となり、結局今日まで埋まっていなかったため、何となく、ひっそりとしたクラブライフとなっておりますが、何とか下半期には活気を取り戻したいものです。早速、入会勧誘用パンフの更新を行う予定です▽そんな中、次期のクラブ役員が確定しました。岡田さんが3度目の会長を引き受けてくださいます。ありがたいことです。一方、次期の部の役員候補を出すよう要請がありますが、以前と異なり、「了解!」と二つ返事で受けることが難しくなっています。何とかしなければ!▽年始早々、柄にもなく繰り言を綴ってしまいました。もっと、ポジティブに参りましょう。▽缶ペーン後日談。缶開け式の二日後、鈴木会計と編集子はずっしりと重いコインを持参して、取引銀行のカウンターに向かいました。道すがら、献金額を推測し、編集子が前回(7万円強)の1/3と想定したところ、鈴木会計は「3万5千円ぐらいかな」結果を見てびっくり、3万5千630円。さすが、元バンカー!

(編集子)



つづきクラブ「缶ペーン」の開缶式

《前月のデータ》

例会出席	16名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	13名	月間出席数	13名	使用済切手	0g	0g
ビジター	0名	メーキャップ	3名	プルタブ	0.6kg	0.6kg
ゲスト	3名	月間出席率	94%	スマイル	0円	55,587円